

1 月 12 日 : テト休暇を前にもみ合い

VN 指数はなんとかプラス圏で終えたが、テト休暇を前に投資家は消極的になっている。

ホーチミン取引所の VN 指数は 0.1% 高の 1,056.39 ポイントで取引を終えた。同指数は水曜日には 0.2% 高で引けていた。

240 銘柄が下落したのに対して 162 銘柄が上昇した。

VN 指数の上昇は ATC でのビンホームズ (VHM、+1.4%)、ビナミルク (VNM、+0.8%)、VP バンク (VPB、+1.4%)、ペトロベトナムガス (GAS、+0.8%) といった大型株の上昇によってもたらされた。

鉱業、水産加工セクターが上昇したことも指数の上昇に寄与した。

ペトロベトナムドリリング (PVD)、ペトロベトナムケミカルサービス (PVC)、ナムベト (ANV) といった銘柄がストップ高まで上昇していた。

一方、マサングループ (MSN)、ベトコムバンク (VCB)、ベティンバンク (CTG) といった銘柄が相場を押し下げた。

流動性は前日とほぼ変わらずで、売買代金が 8.7 兆ドンとなった。

VN 指数が抵抗帯である 1,065-1,080 ポイントに近づいたときには売り圧力が高まるなど、警戒感は依然として残っているとロンベト証券はコメントした。

同社によると、本日も売り圧力に苦しみ、下値を探る展開となるだろう。

ハノイ取引所の HNX 指数は 3 日続伸、0.13% 高の 211.94 ポイントで取引を終えた。

流動性はわずかに改善し、5,500 万株、9,130 億ドンが取り引きされた。外国人投資家は買い越しを続けた。3,230 億ドンを買い越し、今週に入って合計で 1.6 兆ドンを買い越している。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。